



報道発表資料の配付日時 6月7日(火) 15時00分

発表項目 (行事名)	「新北海道スタイル～ウィズコロナ・ポストコロナに対応した新たなビジネスモデル～」(コロナ禍における道内事業者の取組事例)の紹介について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>道では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と社会経済活動の両立に向け、道内事業者の皆さまが実践されているウィズコロナ・ポストコロナに対応した特徴的なビジネスモデルを広く周知し、他の事業者の皆さまが新たなビジネス展開やビジネスチャンスの獲得につなげる参考としていただくため、本日、各種取組事例をホームページに公開しましたので、お知らせします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回は4社を掲載。以後、順次更新し、計30社程度を掲載予定。 また、各種取組事例を取りまとめ後、「事例集」として冊子化する予定。 <p>今回掲載企業：(株)光生舎、平岸ハイヤー(株)、(株)プレミアム北海道、ボーダレス・ビジョン(株)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲載内容は、「コロナの影響」、「コロナ禍での取組」、「今後の展開」等。 <p>2 ホームページURL</p> <p>https://newhokkaidostyle.jp/business_model/</p> <p>※ 経済企画課ホームページにもリンクを貼付</p>		
参考	○ ホームページに掲載の取組事例(一部抜粋)は、別添のとおり。		

報道(取材)に当たってのお願い	道内事業者の皆さまが実践されている様々な取組の紹介に加え、多くの事業者の皆さまへの周知につながるよう、積極的な報道をお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		

担当 (連絡先)	経済部経済企画局経済企画課(担当者:宮崎) TEL ダイヤルイン 011-206-0289 内線 26-927		
-------------	---	--	--

新北海道 ビジネス モデル

新型コロナウイルス感染症が長期化する中、ウィズコロナへの対応やポストコロナを見据え「新北海道スタイル」を導入しながら、様々なアイデアや工夫によって新たなビジネスを実践している事業者・団体の皆さまの取組をビジネスモデルとしてご紹介します。

※掲載している情報は、事業者・団体の取組をまとめたものであり、特定の事業者・団体を道が推薦するものではありません。



コロナ禍の影響が大きい旅行業を軸に新事業へ進出
多角化へ

株式会社プレミアム北海道（札幌市中央区）

2022年5月25日取材

[もっと見る](#)



医療現場で培われた遠隔コミュニケーションツールに
異業種・異分野も注目！

ボーダレス・ビジョン株式会社（札幌市中央区）

2022年5月20日取材

[もっと見る](#)

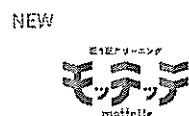


目指す先はタクシーを核とした「地域のプラットフォーム企業」へ

平岸ハイヤー株式会社（札幌市豊平区）

2022年5月23日取材

[もっと見る](#)



顧客ニーズに寄り添った非対面・非接触サービスの提供

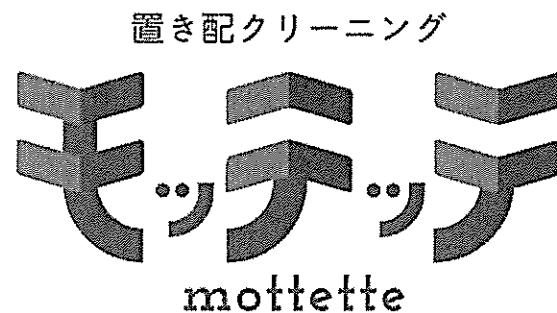
株式会社光生舎（札幌市東区）

2022年5月24日取材

[もっと見る](#)

顧客ニーズに寄り添った非対面・非接触サービスの提供

株式会社光生舎（札幌市東区）



置き配クリーニング「モッテッテ」

- ・1956年創業
- ・従業員500名
- ・クリーナーズ（集配クリーニング）、COCO（女性スタッフの集配クリーニング）、クリーニングピュア（洗濯代行、24時間受け渡しシステム等）、リネンサプライ、リースキン（ダストコントロール、クリーンサービス等）事業 等

<https://www.koseisha.com/>

コロナ禍によりクリーニング需要減

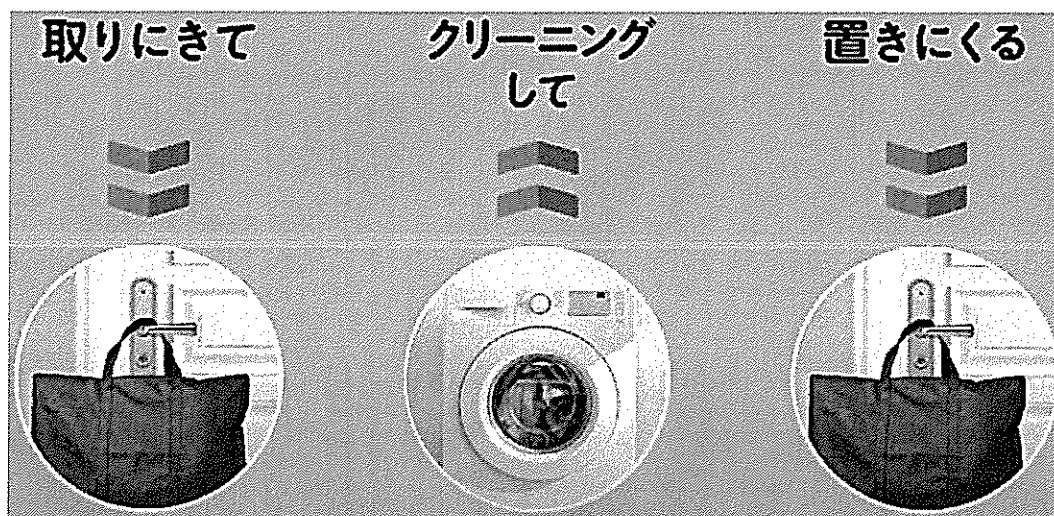
主に個人を対象としたクリーニングは、外出自粛や在宅勤務等のリモートワークが増加したことで、ワイシャツやオシャレ着を着用する機会が大幅に減少し、売上は落ち込みました。

また、ホテル等のリネン類のクリーニングは、ホテル等での宿泊が大幅に減少。打撃を受けた同部門の売上は大きく減少しました。

非対面・非接触サービスの開発

コロナ禍において、非対面・非接触のサービスをユーザーに提供するため、同社のシステム開発部が専用アプリ「モッテッテ」を独自に開発しました。モッテッテは、「玄関先に洗濯物→集配→玄関先に納品」をWeb上で行うことができる画期的なサービスで、ユーザーが店舗を訪問し、対面で受付を行う（別の客がいたら待たされる）といったユーザー側の手間を大幅に改善したことが評価されています。このアプリは、2021年10月から稼働し、2022年3月からはCMも放映されたことで、会員数も順調に伸長。現在もより便利に使用してもらえるよう、改良を続けています。

また、2021年11月からは、道内で初めてとなる「24時間受け渡しシステム」を導入。これは、24時間好きな時間に洗濯物を預けて受け取れるサービスで、専用バッグに洗濯物を入れて預かりボックスに投函するだけ。このシステムは、札幌市内の4店舗で展開されていて、主に都心で働くビジネスパーソンからの利用が急増しています。また、対面による接客を軽減できることから、人手不足が慢性化している同業界の省人化・効率化も期待されています。



「モッテッテ」の概要

お客様のニーズに合った新サービス

都市部と地方では、ユーザーのニーズが異なることから、札幌中心部では「24時間受け渡しシステム」を始めとしたサービスの拡充、地方では、要望に応じて高齢者等を対象としたお手伝いサービス・洗濯代行等を更に展開していきます。



24時間受け渡しシステム



代表取締役 高江 智和理 様

企業からひとこと

「コロナ前の状況には戻らない」という認識のもと、時流をつかみ、ユーザーのニーズを的確に捉えることが何よりも重要です。

2022年5月24日取材